

令和8年2月6日

兵庫県尼崎市中浜町10番地1  
神鋼鋼線工業株式会社  
代表取締役 北山 修二



## 吸収合併存続会社の事前開示事項

当社（以下「甲」という。）は、尾上ロープ加工株式会社（以下「乙」という。）との間において、令和8年4月1日を効力発生日とする吸収合併（以下、「本件合併」という。）を行い、甲が乙の権利義務全部を承継して存続し、乙は解散することといたしましたので、会社法第794条第1項に基づき、同条同項及び会社法施行規則第191条に規定される事項を以下のとおり開示いたします。

### 1. 吸収合併契約の内容

別紙「合併契約書」記載のとおりです。

### 2. 会社法施行規則第191条第1号に規定される事項（合併対価相当性）

甲は、本件合併に際し、乙に対して株式その他の金銭等の対価の交付は行いません。甲は乙の全株式を保有する完全親会社であることから相当であると判断しております。

### 3. 会社法施行規則第191条第2号に規定される事項（新株予約権の定め相当性）

乙は新株予約権を発行していませんので、該当事項はありません。

### 4. 会社法施行規則第191条第3号に規定される事項（吸収合併消滅会社の計算書類等）

#### （1）同号イに規定される事項

乙の令和7年3月31日に終了する事業年度にかかる貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表及び事業報告並びにこれらの附属明細書は別紙のとおりです。

#### （2）同号ロに規定される事項

乙は、令和7年4月1日以降臨時計算書類等を作成していませんので、該当事項はありません。

#### （3）同号ハに規定される事項

乙において、令和7年4月1日以降、重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社の財産の状況に重要な影響を与える事象は発生していませんので、該当事項はありません。

### 5. 会社法施行規則第191条第4号に規定される事項

乙は清算株式会社ではありませんので、該当事項はありません。

### 6. 会社法施行規則第191条第5号に規定される事項

甲において、最終事業年度末日の翌日である令和7年4月1日以降、重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社の財産の状況に重要な影響を与える事象は発生していませんので、該当事項はありません。

### 7. 会社法施行規則第191条第6号に規定される事項

本合併効力発生日以後の甲の資産の額は、債務の額を十分に上回ることが見込まれます。また、本合併効力発生日以後も、甲の収益及びキャッシュフローの状況につき、甲による債務の履行に支障を及ぼすような事象は、現在のところ想定されていません。従いまして、本合併効力発生日以後における甲の債務の履行の見込みはあると判断しております。

### 8. 会社法施行規則第191条第7号に規定される事項

上記の記載事項について変更が生じた場合には、別途、書面を備え置いて開示することといたします。



## 合併契約書

神鋼鋼線工業株式会社（以下「甲」という。）と、尾上ロープ加工株式会社（以下「乙」という。）とは、次のとおり合併契約（以下「本契約」という。）を締結する。

### （合併の方法）

第1条 甲及び乙は、本契約に定めるところにより、甲を吸収合併存続会社、乙を吸収合併消滅会社とする吸収合併（以下「本合併」という。）を行い、甲は本合併により乙の権利義務の全部を承継する。

### （合併をする会社の商号及び本店）

第2条 甲及び乙の商号及び本店は、以下のとおりである。

甲（吸収合併存続会社）

商号：神鋼鋼線工業株式会社

本店：兵庫県尼崎市中浜町10番地1

乙（吸収合併消滅会社）

商号：尾上ロープ加工株式会社

本店：兵庫県加古川市尾上町今福128番地

### （合併が効力を生ずる日）

第3条 本合併の効力発生日（以下、「効力発生日」という。）は令和8年4月1日とする。但し、必要に応じて、甲乙協議の上これを変更することができる。

### （合併に際して交付する金銭等及び割当に関する事項）

第4条 甲は、甲が乙の全ての株式を保有する完全親会社であるため、本合併に際して、乙の株主に対して、甲の株式又はこれに代わる金銭等の交付は行わないものとする。

### （資本金及び準備金の額等）

第5条 本合併に際し、甲の資本金、資本準備金及び利益準備金は増加しない。

### （合併承認決議）

第6条 甲は、会社法第796条第2項の規定に基づき、株主総会の承認を得ず、令和8年2月6日開催の取締役会の承認を得て合併を行うものとする。

2 乙は、会社法第784条第1項の規定に基づき、株主総会の承認を得ず、令和8年2月6日開催の取締役会の承認を得て合併を行うものとする。

### （善管注意義務）

第7条 甲及び乙は、本契約締結の日から効力発生日に至るまで、善良なる管理者の注意をもって、それぞれの財産を管理運営し、その財産または権利義務に重大な影響を及ぼす行為については、あらかじめ甲乙協議して合意の上これを実行するものとする。

### （本契約の条件の変更及び解除）

第8条 本契約締結の日から効力発生日に至るまでの間において、本合併の実行に重大な支障となる事態が生じた場合その他本契約の目的の達成が困難となった場合には、甲及び乙は協議し合意のうえ、本合併の条件その他本契約の内容を変更し、又は契約を解除することができる。

### （合併契約の効力）

第9条 本契約は、法令に定める関係官庁の承認を得られなかったときはその効力を失う。

### （本契約に定めのない事項）

第10条 本契約に定める事項のほか、本合併に関し必要な事項は、本契約の趣旨に従い、甲乙協議の上決定する。

本契約締結の証として、本契約書1通を作成し、甲乙記名捺印の上、甲が保有するものとする。

令和8年2月6日

（甲）兵庫県尼崎市中浜町10番地1  
神鋼鋼線工業株式会社  
代表取締役 北山 修二



（乙）兵庫県加古川市尾上町今福128番地  
尾上ロープ加工株式会社  
代表取締役 須堯 正二



# 貸借対照表

2025年 3月 31日

(当期会計期間末)

【2019年4月伝票より】尾上ロープ加工株式会社

(期首残高未確定)

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 93,881,629】	【流動負債】	【 142,078,832】
現金及び預金	77,980,558	短期借入金	90,000,000
売掛金	12,110,800	未払金	14,543,037
棚卸資産 原材料及び貯蔵品	1,111,620	未払法人税等	5,509,000
前払費用	768,454	未払費用	9,509,588
未収入金	23,280	預り金	769,073
立替金	1,886,917	引当金 (流動)	21,748,134
【固定資産】	【 25,350,602】	【固定負債】	【 4,550,400】
(有形固定資産)	( 25,350,602)	引当金 (固定)	4,550,400
建物 (純額)	3,602,903	負債合計	146,629,232
構築物 (純額)	6,483,016		
機械装置 (純額)	10,552,098		
車両運搬具 (純額)	854,963		
工具、器具及び備品 (純額)	3,857,622		
		純資産の部	
		科 目	金 額
		【株主資本】	【 Δ27,397,001】
		資本金	10,000,000
		(利益剰余金)	( Δ37,397,001)
		利益準備金	2,500,000
		繰越利益剰余金	Δ39,897,001
		純資産合計	Δ27,397,001
資産合計	119,232,231	負債純資産合計	119,232,231

# 損 益 計 算 書

自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月 31日

(当期累計期間)

【2019年4月伝票より】尾上ロープ加工株式会社

(期首残高未確定)

(単位：円)

科 目	金 額
【売上高】	487,987,252
【売上原価】	418,568,370
売上総利益	69,418,882
【販売費及び一般管理費】	41,667,295
営業利益	27,751,587
【営業外収益】	
営業外 受取利息	30,834
営業外 その他営業外収益	81
営業外収益合計	30,915
【営業外費用】	
営業外 支払利息	674,333
営業外 その他営業外費用	147,019
営業外費用合計	821,352
経常利益	26,961,150
特別利益合計	0
特別損失合計	0
税金等調整前当期純利益	26,961,150
【法人税等】	
法人税、住民税及び事業税	5,513,721
法人税等合計	5,513,721
当期純利益	21,447,429

# 株主資本等変動計算書

自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月 31日

(当期累計期間)

【2019年4月伝票より】尾上ロープ加工株式会社

(期首残高未確定)

(単位：円)

科 目	変 動 事 由	金 額
【株主資本】		
【資本金】	当期首残高及び当期末残高	10,000,000
【利益剰余金】		
利益準備金	当期首残高及び当期末残高	2,500,000
繰越利益剰余金	当期首残高及び当期末残高	△61,344,430
利益剰余金	当期首残高	△58,844,430
	当期変動額	21,447,429
	当期末残高	△37,397,001
株主資本合計	当期首残高	△48,844,430
	当期変動額	21,447,429
	当期末残高	△27,397,001
純資産合計	当期首残高	△48,844,430
	当期変動額	21,447,429
	当期末残高	△27,397,001

# 製造原価報告書

自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月 31日

(当期累計期間)

【2019年4月伝票より】尾上ローブ加工株式会社

(期首残高未確定)

(単位：円)

科 目	金 額	
製造原価要素 (材料費) 合計		0
【製造原価要素 (労務費)】		
製造 (労務費) 給料賃金	163,120,833	
製造 (労務費) 従業員賞与手当	40,825,717	
製造 (労務費) 退職金	50,000	
製造 (労務費) 法定福利費	35,012,018	
製造原価要素 (労務費) 合計		239,008,568
【製造原価要素 (経費)】		
製造 (経費) 厚生費	17,374,761	
製造 (経費) 租税公課	278,595	
製造 (経費) 減価償却費	4,190,559	
製造 (経費) 賃借料	26,333,166	
製造 (経費) 旅費交通費	2,748,214	
製造 (経費) 修繕費	8,191,850	
製造 (経費) 電力料	6,176,136	
製造 (経費) 消耗品費	18,211,390	
製造 (経費) 通信費	778,461	
製造 (経費) 外注加工費	44,236,109	
製造 (経費) 雑費	51,040,561	
製造原価要素 (経費) 合計		179,559,802
製造原価要素合計		418,568,370

# 販売費及び一般管理費明細書

自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月 31日

(当期累計期間)

【2019年4月伝票より】尾上ロープ加工株式会社

(期首残高未確定) 〃

(単位：円)

科 目	金 額	
役員報酬	9,480,000	
役員退職慰労金	1,137,600	
給料	15,340,200	
賞与引当金繰入額	10,712,286	
法定福利費	3,668,021	
旅費交通費	1,329,188	
販売費及び一般管理費合計		41,667,295

## 個 別 注 記 表

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

- (1) 有形固定資産の減価償却の方法  
定額法によっています。
- (2) 賞与引当金の計上の方法  
従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、  
支給見込額に基づき計上しています。
- (3) 役員退職慰労引当金の計上の方法  
役員の退職慰労金の支出に充てるため、  
支給見込額に基づき計上しています。
- (4) 収益及び費用の計上基準  
収益については実現主義により、  
費用については発生主義により計上しています。
- (5) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項  
消費税の会計処理は税抜方式によっています。

### 2. 株主資本等変動計算書に関する注記

- (1) 当事業年度の末日における発行済株式の種類及び総数  
普通株式                      200株

以上

## 第37期 計算書類に係る附属明細書

(自 2024年4月1日  
至 2025年3月31日)

## 1. 有形固定資産及び無形固定資産の明細

単位:円

区分	資産の種類	期首 帳簿価額	当期増加額	当期減少額	当期 償却額	期末 帳簿価額	減価償却 累計額	償却累計率
有形固定資産	建 物	3,749,076	308,000		454,173	3,602,903	13,550,268	79.0%
	構 築 物	7,413,016			930,000	6,483,016	3,827,315	37.1%
	機 械 装 置	10,842,543	743,000		1,033,445	10,552,098	121,524,758	92.0%
	車 輛 運 搬 具	1,470,961	275,000		890,998	854,963	10,483,037	92.5%
	工 具 器 具 備 品	2,905,565	1,834,000		881,943	3,857,622	15,788,908	80.4%
	建設仮勘定	0	3,160,000	3,160,000		0		-
	計	26,381,161	6,320,000	3,160,000	4,190,559	25,350,602	165,174,286	-
無形固定資産	該当無し							

## 2. 引当金の明細

単位:円

区分	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
賞与引当金	19,854,114	51,538,003	49,643,983	21,748,134
役員退職慰労引当金	3,412,800	1,137,600	0	4,550,400
計	23,266,914	52,675,603	49,643,983	26,298,534

## 3. 販売費及び一般管理費の明細

単位:円

科目	金額	摘 要
労 務 費	役員報酬	9,480,000
	役員退職慰労引当金繰入額	1,137,600
	給料	15,340,200
	賞与引当金	10,712,286
	法定福利費	3,668,021
計	40,338,107	
経 費	旅費交通費	1,329,188
	計	1,329,188
合計	41,667,295	

役員報酬額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。

## 事業報告

〔 2024年 4月 1日から  
2025年 3月31日まで 〕

## 1. 株式会社の現況に関する事項

## 1-1 事業の経過及びその成果

当会計年度における日本経済は、諸資材や労務費の高騰に加え、2025年1月に発足した米国トランプ政権が早々に関税の引き上げを表明、国内外の経済情勢から目が離せない状況となっています。

このような状況のなか、当社は親会社への販売単価の見直しを交渉、加えて近年にない実需に基づいた特殊案件の獲得もあり売上高は対前年比20%以上の増加となりました。一方コスト面ではベア等による労務費コストのアップがあったにも関わらず徹底したコストダウンに取り組み総額でのコストのアップを5%強に抑えました。

売上高は前年に比べ+92百万円増加の487百万円(前年比+23.5%増)、売上品原価、一般管理費は前年に比べ+24百万円増加の460百万円(前年比+5.6%増)、営業損益は対前年比+68百万円増の+27百万円、経常損益も同様に+68百万円増の+26百万円となりました。

結果、最終当期利益は+21百万円となり、2021年度以来の黒字を達成することができました。

## 1-2 資金調達等についての状況

当期間中につきましては、親会社から借り入れていた90百万円につきまして3ヶ月毎の借り換えを実施し、期末借入金残高は前年と同額の90百万円とさせて頂いています。

## 1-3 直前3事業年度の財産および損益の状況

区 分	2021年度 第34期	2022年度 第35期	2023年度 第36期	2024年度 第37期(当期)
売上高	421,937,795 円	403,630,905 円	395,070,192 円	487,987,252 円
経常損益	11,902,901	▲ 34,063,480	▲ 41,337,457	26,961,150
当期純損益	10,024,616	▲ 41,998,686	▲ 41,503,457	21,447,429
1株当り当期純損益	+50,123円 08銭	▲ 209,993円 43銭	▲ 207,517円 29銭	+107,237円 14銭
総資産	116,307,895	92,144,822	80,343,124	119,232,231
純資産	44,677,713	▲ 7,340,973	▲ 48,844,430	▲ 27,397,001

## 1-4 対処すべき課題

2024年度は黒字となったものの貸借対照表純資産の部は依然として▲28百万円となっており、赤字体質から脱却できた状態とはなっていません。本年度も前年度同様、コストの削減に取り組んでまいります。

安全面では軽微小災害を複数件発生させており、リスクアセスメントの展開、パトロール強化、作業前KYミーティングの実施徹底、機械安全の推進など、引き続き管理、人、設備、作業の多方面から製造所と一体となって活動に取り組んでまいります。

品質面ではハンディ端末を用いた一品管理システムの改善・修正、品質向上に向けた機器改善、作業時の注意点の見える化に引き続き取り組むと共に、加工指示のシステム化、測長器導入に向けた検討も実施してまいります。

## 1-5 当該事業年度の末日における主要な事業内容

- 1.ワイヤロープ加工
  - (1)切断加工
  - (2)端末加工
  - (3)プレテンション加工
- 2.ケーブル加工
- 3.梱包・構内運搬・倉庫管理・出荷業務
- 4.ダイス研磨
- 5.その他受託業務

## 1-6 当該事業年度末日における主要な工場並びに使用人の状況

## (1) 主要な工場

本社工場:兵庫県加古川市尾上町今福128

## (2) 使用人の状況

従業員数 (内出向者)	45名 (32名)
平均年齢	50.0歳
平均勤続年数	11.4年

## 1-7 重要な親会社の状況

当社の親会社は神鋼鋼線工業株式会社であり、当社の株式を200株(出資比率100%)保有しています。また同社は当社の事業と密接な関係を有しております。

## 1-8 主要な借入先及び借入額

借入先	借入残高
神鋼鋼線工業株式会社	90,000,000円

## 2. 株式に関する事項

## 2-1 株式に関する重要な事項

発行可能株式総数	320株
発行済株式の総数	200株
当該事業年度末の株主数	1名
大株主	神鋼鋼線工業株式会社 出資比率 100%

## 3. 会社役員に関する事項

## 3-1 地位及び氏名

地 位	氏 名
取締役社長 (代表取締役)	堀 川 健 一
常務取締役(常勤)	笠 井 経 民
取締役(非常勤)	木 村 貴 行
監査役(非常勤)	大 石 修 三

## 4. 業務の適正を確保するための体制等の整備に関する事項

## 4-1 体制の整備

取締役、監査役全員出席による取締役会を毎月開催するとともに、15件の規程等の改訂、制定を行い、体制の強化に務めました。

## 4-2 運用の状況

取締役会での報告、監査役による監査においての指摘事項はございませんでした。